

デジタル新聞を活用した NIE 活動

ー 沖縄修学旅行の事前・現地学習を中心にー

静岡県立裾野高等学校 伊藤智章

1. 目的

- | |
|---|
| ①「デジタル」の特性を生かした新しい NIE 教材・実践の確立
②「高校らしい」「高校だからできる」NIE 活動の提案と普及 |
|---|

2. 学校の概要【資料1】

- ・生徒数:573名(1学年5クラス) 進学・就職ほぼ半々
- ・総合学科(人文国際・自然科学・会計ビジネス・情報ビジネス・福祉介護の5系列)
- ・県の「地域学」推進事業(2014・15年度指定校)・防災・キャリア教育に特色
- ・新聞購読家庭は半数以下で、新聞を日常的に読む生徒は極端に少ない。
- ・授業が、新聞と生徒をつなぐ唯一といえる機会だが、授業での活用頻度は高くない。
- ・NIE実践校で新聞を配置→教室、図書室共に日常的に読む生徒はほとんどいない。
- ・「ニュース」自体には関心あり。テレビやスマホが主な情報源。

3. 授業の実際 公民科:「現代社会演習」(2年) 商業科:「情報処理」(2年)

- 現代社会演習……NIE活動を日常的に行う(切り抜き、ワークシートなど)
- ・2年2学期後半～修学旅行出発前(1月)沖縄の新聞を使ったNIE授業を展開……【資料2】
- ・県の重点事業枠予算で沖縄の2紙(琉球新報・沖縄タイムス)を1年分購入(2014年度)
- ・県の重点事業枠予算で新聞の「デジタルライセンス」契約(2015年9月～12月)(2015年度)
→デジタル・アナログの両面から「**新聞切り抜き**」を実施→場所を調べて地図上に展開
- ・沖縄タイムス社より、古い新聞記事(終戦直後、1970年代、1980年代、1990年代)の提供
→時代に合わせた地図を用意して地図と比較して記事を読む授業
- 情報処理……「情報ビジネス系列」選択者の必修科目
- ・修学旅行の「系列別研修」で新聞社(沖縄タイムス)の「デジタル局」を訪問。
- ・**新聞記事と地図を組み合わせた iPad 用アプリ**の制作と現地研修……【資料3、4、5】 ←

情報収集/加工を分担

4. 成果と展望

①デジタルならではの新聞活用の方策に、展望を開くことができた。

二次利用の容易さ、共有や分業のしやすさが強み。ただ、「デジタルのみ」でなく、アナログ(切り抜き)との組み合わせがより効果的。また、「デジタル世代」にはアナログ作業が新鮮。

②高校ならではの NIE を具現化し、課題を見出すことができた。

- ・専門を生かした指導とNIEへのニーズ→**専門高校、総合学科高校は、特色を出しやすい。**
- ・高校ならではのスケールの大きさ→通学範囲の広さ、修学旅行の規模、地域連携など。
- ・**地域セールス**資源としての新聞→ICTで新聞社が遠方の学校と組むことが容易に。記者と教員、生徒の「顔の見える関係」が築ける。地方紙の積極関与に期待(静岡に修学旅行生……)